

　来年秋に「健康保険証を廃止してマイナンバーカードに替える」という河野デジタル大臣の宣言で実質的な強制が始まって以来、次々と起こ

**第１９１回**

**憲法ひろば**

第**219**号

**8月2日**

**２０２３年**

**発行:調布九条の会「憲法ひろば」**

----------------------------------------------------------

〒182-0022 調布市国領町2-5-15 あくろす2階

 市民活動支援センター内メールボックス６番

-----------------------------------------------------------

郵便振替**00170-6-445473** 加入者名**大野哲夫**





　調布｢憲法ひろば｣は7月29日(土)たづくり1001学習室で第191回例会を開催。「マイナンバー制度のねらい」について、長年にわたって共通番号を批判してきた宮崎俊郎（としお）さん **(左写真)**のお話を聞きました。参加は46人(内ズーム参加10人)。進行は丸山重威世話人**(左下写真)**、記録は石川康子世話人が担当しました。

　　　　**(編集部)**

**E-Mail：choufu9jou@yahoo.co.jp**

**WEBサイトhttp://choufu9jou.sakura.ne.jp**

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*



るミスマッチ。その被害が拡大する中で開かれた例会となり、参加者は久しぶりに50人に迫りました。

**創ったのは民主党**

マイナンバー制度の発想は民主党政権の中で出ていた。その趣旨は公平な社会保障を実施するために正確な個人情報を収集することで、その内容も税・社会保障・災害に限られていた。２０１３年自公政権下で制定された「番号法」でもこの枠は保持されていたが、23年６月２日強行採決された「改正番号法」は

その枠を取り払い、マイナンバーのオールマイティ化を図るもので、それは23年３月９日の最高裁判決（上記３領域に限定されているから合憲）をも無効化するものだ。

**進まぬカード取得にマイナポイント給付**

カード交付は16年初から始まったがその取得は遅々として進まず、取得率は４年後でも16・８％、取得に対し５千円分のポイントを給付しても40％に満たなかった。21年９月デジタル庁発足、22年初めに健康保険証、公金受け取り口座に紐づければそれぞれ７５００円、合計２万円分の第２次マイナポイント給付が始まってから今年７月までに74・４％まで伸びたが、健康保険証への紐づけ間違い約７４００件はじめさまざまなミスマッチが多発して社会問題になった。

**ミスマッチの原因は構造的問題**

政府はトラブルの原因を現場でのヒューマンエラーとして責任を取ろうとしない。そもそも個人情報の管理は各自治体が行っていたのでそのシステムは様々だった。それをデジタル庁のもとに強引に統合しようとしたところに無理があるのだ。「個人情報保護委員会」がデジタル庁に立ち入り検査にはいったが、「内部監査」に終わらないことを期待したい。

**強制への民間からの圧力**

マイナカードの主な機能は電子証明書による本人確認で、その発行番号（シリアル番号）によって健康保険証、運転免許証、在留カードなど様々な証明との紐づけが可能になる。とくに電子取引を拡大しようとしている民間企業にとって、堅牢な本人認証のできるマイナカードは取引の確実性を担保するもので、強制取得への民間からの圧力は強大だ。

**超監視社会・戦争国家への道**

国にとっても全国民にマイナンバーカードを取得させ、在留カードのように常時携帯を義務付け、「国内パスポート」に仕上げれば、非常時に必要な人材を効率的に調達できるというメリットがある。究極にあるのは徴兵制だ。しかしこのような「ナショナルカード」を運用しているのはごく少数の例外的な国（エストニア、インドなど）だけである。

**書かない番号！持たないカード！**

　こんな道を歩まないために私たちにできることは何か。自主返納運動が起こっているが、カードを返しても一旦紐づけられたデータは消えない。しかしカードを使わないことで制度の無効化につなげることができる。今さまざまな手続きの際にマイナンバーの記入が求められることが多くなっているが、たいていの手続きは書かなくても可能だ。２万円の餌で釣ってもまだカード所持率は４分の３。10人に３人は持っていない。これ以上所持率を増やさず、取った人も使わないようにしよう。私（宮崎）はいかなるカードも持たず、すべて現金決済にしている。「アナログ選択権」の認められる社会を作りたい。

**まずは健康保険証廃止の撤回を！**

　とりあえずは強制の突破口になっている健康保険証の廃止を撤回させよう。街頭宣伝、デモ、集会を通じて、何のメリットもないこの政策を撤回させよう。

**（石川康子･記）**

**マイナンバー強制社会にいかに抗するか？**

**共通番号いらないネット**

**宮崎 俊郎さん**

**お話：**



